

## ◆ 八王子都税事務所長賞 ◆

「一番正しい税の道」

八王子市立第二中学校 3年 小川 詩織

税の正しい使い道とは、一体何なのでしょう。健康や安全が守られる事でしょうか。あるいは、自分の国を守る事でしょうか。はたまた、海外援助をする事でしょうか。人それぞれ正しいと思っている税の使われ方はあると思いますが、「一番」正しい税の使い道を問われた場合、その回答は同じような立場、似たような境遇の人と被る事になるでしょう。私が、このように思った理由を二つの税にふれながら説明していきたいと思います。

まず、一つ目に気になった税は消費税です。消費税は、買い物をするときに八パーセントから十パーセントの税金がかかり、もちろん私達中学生が買う物にも年齢関係なくかかってくる税で最も身近な税といっても過言ではない程、認知度が高い税です。けれども、その消費税の使われ方を知っている人は、あまり多くはないのでしょうか。そこで、SNSを使って消費税の使われ方について調べてみた所、約九割は、年金、医療、介護、子育て等の社会保障に使われています。この税金を様々な視点でみていくと、お年寄りの方、子育てをしている方にとってはとても嬉しい使われ方で、この使い道は正しいと考えるでしょう。逆に言えば、前述のような状況でない方は、あまり良い使われ方だと思わない方もいると思います。

次に所得税についてです。所得税は、以前私の学校に税理士の方が来てくださった時に年収の差がある三つの世帯から何円の税金をとれば良いのかという話し合いをしたときに初めて知った国に納める国税です。所得税は、国民間の所得格差を調整する役割を担っていて、所得の少ない人には軽い負担、所得の多い人には重い負担になっています。私は、所得の少ない人の立場になると優しい税のかけ方だなと思いますが、所得の多い人の立場になると厳しい税だなと思いました。

このように、税の使われ方や集め方に対する感じ方、考え方は、その人がおかれている立場や境遇で大きく変化し、常に賛否両論になっています。だからこそ、税は様々な種類や決まりがあることで一部の人だけが豊かになったり、悲しんだりしないような仕組みになっているんだなと思いました。

「十人十色」ということわざがあるように、十人の人が一番正しい税の使い道について議論したら、全員異なる意見かもしれません。しかし、それは悪い事ではなく、むしろ良い事なのかもしれません。多種多様な税があれば、多種多様な考えが生まれる。そして、その考えを押し付けずに、冷静に話し合い、理解し合い、認め合う事で、「一番正しい税の道」へと導かれ、より良い未来へ繋がっていくのではないのでしょうか。